

「世界自閉症啓発デー」に当たっての文部科学大臣メッセージ

東日本大震災で亡くなられた皆様に衷心より哀悼の意を表し、今もなお厳しい生活を余儀なくされている被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

本日4月2日に、「世界自閉症啓発デー」は5年目を迎えました。また、日本では、本日から8日までを「発達障害啓発週間」として、自閉症をはじめ発達障害についての正しい理解の啓発に取り組むという活動を行っております。

文部科学省としても、幼稚園、小学校・中学校、高等学校等に在籍している、自閉症をはじめ発達障害のある子どもたち一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な教育支援を行うことができるよう、関係機関が連携した特別支援教育の体制整備を進めているところです。特に、昨年8月に障害者基本法が改正され、教育分野においては、従来の調査研究、学校施設の整備の促進に加え、人材の確保及び資質の向上、適切な教材の提供等の環境整備を促進しなければならない、とされました。文部科学省としても、その改正を踏まえ、環境整備に努めてまいります。

この「世界自閉症啓発デー」を契機に、自閉症をはじめ発達障害のある子どもたちが自分の持つ能力を存分に発揮できるよう、全ての教育関係者が、一人一人の子どもたちを慈しみ育てる視点を再確認し、また、保護者の方々の気持ちに寄り添った支援について真摯に考え、実践していただきたいと強く願っております。文部科学省としても、全ての子どもたちが、生き生きと充実した学校生活を送ることができるよう、より一層努力をしてまいります。

平成24年4月2日
文部科学大臣
平野博文